

オペラ

アクリエひめじ オープニングシリーズ オペラ 千姫 -SENHIME-

Story あらすじ

千姫は、徳川家康の孫にして、父は二代将軍徳川秀忠、母は織田信長の姪の江。三代将軍徳川家光は弟にあたるという、徳川家の姫の中の姫。幼くして豊臣秀頼に嫁した千姫のそばには、侍女おちょぼが寄り添っていた。

元和元年(1615)5月・大坂夏の陣による大坂落城から物語は始まる。

豊臣と徳川との和睦を求めて大坂城を脱出した千姫であったが、そのかいなく秀頼自刃とともに城は落城する。憔悴しきった千姫に対し父秀忠は娘に新たな人生の選択肢として、徳川四天王本多忠勝につながる名門の桑名藩主本多忠政嫡男忠刻との再婚を勧める。大坂から江戸への道中に忠刻を見知っていた千姫は、婚姻を承諾し豊臣家との縁切りを済ませて元和2年(1616)、忠刻の待つ新天地、伊勢桑名へと入る。

翌元和3年(1617)、新たな平和の時代を開くべく、徳川家の采配により本多家は姫路へ移封される。藩主本多忠政に従う夫忠刻とともに千姫も姫路入りし、おちょぼもまた付き従う。將軍家との深いつながりのある美しい姫の入城に、播磨の領民も心からの歓迎で迎え入れた。

未来への希望と幸せが溢れる生活が始まり、長女勝姫、長男幸千代にもめぐまれ、千姫の心の傷も癒されようとしていた。

しかし、事態は急変する。旧豊臣側の報復や妬み、医師桂庵の暗躍が千姫の周りに渦巻くなか、跡取りである長男幸千代の死、そして最愛の夫忠刻の死。千姫には再び悪夢が襲ってくるが、困難を迎えながらも試練に打ち勝ってきた千姫は、新たな道を開くべく、夫と幸せな時を共にした地の発展を願いながら姫路をあとにするのであった。

・SENHIME・

Cast 出演

千姫	小林沙羅
おちょぼ	古瀬まきを
本多忠刻	矢野勇志
本多忠政	池内響
お熊	井上美和
徳川秀忠	小林峻
お江	尾崎比佐子
宮本武蔵	井上敏典
宮本三木之助	近藤勇斗
松坂の局	伊藤典芳
坂崎出羽守	奥村哲
桂庵	山田直毅
芥田四左衛門	林真衣
奥女中	金岡伶奈
合唱	千姫合唱団 (仮称)

チケット情報

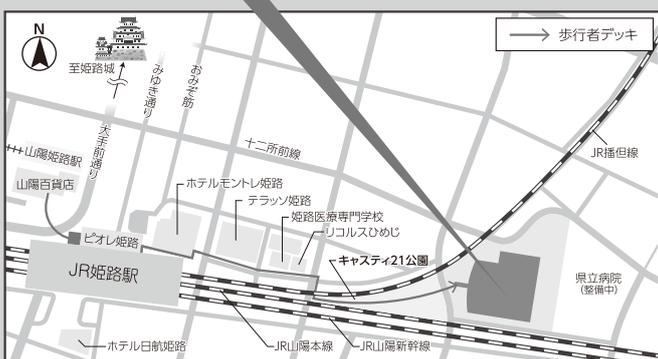
発売日

財団友の会: 6/15(火) 一般: 6/17(木)

アクリエひめじ

JR姫路駅から徒歩約10分

大ホール



播磨圏域初となる、2,010席の大規模ホールです。播磨の文化芸術の拠点として、国内外のコンサートなどの音楽公演や舞台芸術をはじめ、講演会やパネルディスカッションなど多彩な催事に対応しています。大ホールは3層客席形式で、ステージまでの距離を感じさせない、臨場感溢れる空間を生み出します。可動式の音響反射板を備え、アコースティックでの演奏時に豊かな音の広がりや残響を確保しています。また、車椅子席や多目的鑑賞室を配置しており、ユニバーサルデザインにも配慮しています。



※アクリエひめじ専用の駐車場は台数が限られていますので、出来るだけ公共交通機関をご利用ください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、劇場の衛生対策を実施しております。公益財団法人姫路市文化国際交流財団のウェブサイトでご確認いただいてからご来場いただけますようお願いいたします。